

論文審査の要旨(甲)

申請者領域・分野 氏名	総合医療・健康科学領域総合診療医学教育研究分野 氏名 野村 理
指導教授氏名	加藤 博之
論文審査担当者	主 査 福田 幾夫 副 査 廣田 和美 副 査 伊藤 悦朗
<p>(論文題目) Medical students can teach communication skills -A mixed methods study of cross-year peer tutoring (医療面接教育における卒前屋根瓦式教育の有効性に関する混合研究)</p>	
<p>申請者は卒前教育において上級生が下級生の教育に携わる卒前屋根瓦式教育 (Cross-year peer tutoring; CYPT) の効果について、非劣性試験により、教員による教育 (Faculty-led training; FLT) に対する客観的指標を検証し、同時に教育的な有効性を質的に探索した。弘前大学医学部医学科 4 年次学生のうち同意の得られた 116 名を対象として、非盲検無作為化非劣性試験およびフォーカスグループによる質的研究を組み合わせた収斂型混合法研究を実施した。医療面接実習において 1) 本学 5 年次学生チューター 6 名による屋根瓦式教育群 (CYPT 群) 58 名と 2) 教員 6 名による教育群 (FLT 群) 58 名の 2 群について、共用試験 OSCE の医療面接ステーションのスコア (100 点満点換算) を評価項目とし非劣性を検証した。5 年生チューターに対しては事前に指導手法に関する 1 時間の教育セッションを行った。質的研究として CYPT 群に割り振られた 4 年生のうち 4 名と 5 年次チューター 6 名に対するフォーカスグループとの計 2 回のインタビュー記録を逐語録に置き換え、修正グラウンデッドセオリーを用いて質的に解析した。CYPT 群および FLT 群の OSCE スコアは、それぞれ 91.4 (SD 5.5) および 91.2 (SD 5.4) であり平均スコアの差 0.2 の 95%信頼区間は -1.8 ~ 2.2 で非劣性限界 3.0 を超えず、CYPT 群の FLT 群に対する非劣性が示された。</p> <p>フォーカスグループの分析では 13 の従属概念を抽出し、それらの関連を分析し 1) CYPT の利点、2) 上級生と下級生の省察、3) 教員との対比の 3 つのカテゴリーが形成された。上級生の実経験に基づいた実践的アドバイスや効果的なフィードバックにより、両者に信頼関係が生じることで下級生は上級生をロールモデルとして認識し、またその学習環境を快適と感じた。これらの結果として、下級生はインタビュースキルを向上させ、上級生と下級生それぞれに深い省察が促進された。一方、チューターの教育者としての限界、チューターの葛藤という課題も明らかとなり、教員によるチュータートレーニングの重要性が示唆された。本研究は卒前屋根瓦式教育に関する非劣性試験を含む初めての混合研究である。屋根瓦式教育の有効性は下級生のみならず上級生に対しても省察を促す効果も示されており、学位授与に値する。</p>	
公表雑誌等名	BMC Medical Education 2017;17:103